

# しち せき 七夕の節句

七夕（7月7日）には夜空に浮かぶ天の川や、織姫の紡ぐ糸に見立てて「そうめん」を食べる風習があります。これは「そうめん」の原型となった「索餅※」が平安時代に七夕の儀式でお供えされたことにちなんでいます。



※小麦粉や米粉を練り、縄のようにねじって乾燥させた  
り、揚げたりしたもの。



参考：農林水産省ウェブサイト、和食文化の  
保護・継承に向けた事業の紹介

中国から伝わった「織姫と彦星」の伝説と、日本の「<sup>たなばたつめ</sup>棚機津女」の伝説、さらに旧暦のお盆の期間であることが合わさり、現代のお祭りの形になったといわれています。別名は「笹の節句」。

願い事を書いた五色の短冊や飾りを笹竹に吊るし、技芸上達・豊作を願います。

